

事業名称	地域で取り組む国際交流・国際理解 ～共に生きるこころ豊かなふるさとをつくる力の醸成～
団体名・代表者	姫コアネット5 代表者 水田 正俊
協働の相手方	文化国際課・国際交流センター

目的	姫路市には、ベトナムなど外国にルーツを持つ子供達(以下、外国人の子供達)が多く在住している。中には日本の文化や習慣、人間関係などに溶け込めず、孤立し、自分の将来に希望が持てないなどの子供達がいる。その多くが、学習や進学、就職をはじめ生活の中で厳しい現実と向き合っている。 活動を重ねて分かってきたことがある。それは、彼らのアイデンティティの確立に最も重要なことは、自尊感情を高め、将来の夢に向かって努力し、自己実現を可能にする学力とキャリア形成に向けた情報と体験の獲得である。そこで、小学生、中・高校生の発達段階に応じた彼らのキャリア形成に係る具体的な支援活動を行う。
内容	本会は、外国人の子供達が身近な地域社会において逞しく生きていくため、自らの将来に夢と希望を持ち、逆境にも負けず、自らのキャリアを切り拓くため、次の支援活動を行った。 ① 地元会社訪問（姫路に在住する外国人の中・高校生を対象） ② キッザニア甲子園仕事体験（姫路に在住する外国人の小学生を対象）
事業経過	7～8月 地元会社訪問打合せ・依頼／計画・参加者募集 9月5日（土）キンキサイン株式会社本社第二工場見学・懇談（中・高校生） 10月 キッザニア仕事体験の打合せ・計画・募集 12月 コロナの影響で延期／2月 コロナの影響で延期 3月27日（土）キッザニア甲子園仕事体験（小学生）
事業の効果	日本の未来を拓く外国人の子ども達のキャリア形成に係る課題を明らかにし、発達段階に応じた具体的な支援を行うことにより、彼らが自分の将来をあきらめることなく、夢や希望を見つけて自己実現をしようとする動機付けを促すとともに、親や家族及び地域社会の意識変革など、周りの環境づくりについても確かな成果を得た。
今後の展望	今後とも ①参加者に事前学習を行う⇒ ②訪問・見学・体験後に振り返り学習を行い意見交換する⇒ ③まとめ冊子（達成度評価資料）を作成し、保護者や関係機関等に啓発したり、次の参加者の事前学習に活用したりするなど、これらの手法と成果を踏まえ、継続可能な活動として充実・深化を図っていきたい。

【実施団体の事業総括・感想等】

姫路に住む外国籍の子供達が、自身の将来に夢と希望をもって自己実現を図ることができる具体的な支援が求められている。今回の成果から、姫路市は、民間やNPOなどと連携を強化し、互いの文化やアイデンティティを尊重し、人と人、人と地域の繋がりを大切にしながら、身近な多様性を地域の豊かさに転換していく多文化共生の施策を、より一層、積極的に講じることが大事だと考える。

【協働の相手となった所管課の感想等】 ※実施団体は記入しないでください

今回姫路市に住む外国籍の子供達に職業体験の機会を与えることができ、外国籍の子供が現在曖昧でまだ夢を描けていないかもしれないが、この体験を通じて将来に対しての希望や夢をもつことができたのではと思う。今回だけにとどまらず、日頃より行政・民間・NPOが連携を強化し、多文化共生に関する施策を講じ、よりいっそうの多文化共生の実現に向けて今後も努力を続けていきたい。